

いしづか上球磨

No. 85

平成 29 年 4 月

火災・救急・救助は**119**ばん

携帯電話からも、局番なしの**119**ばん

※ 休日当番医の問い合わせは、**42-3181**番へ！
災害の問い合わせは、**42-3000**番へ！



総務課 42-3191・予防課 42-3184
通信課 42-3181・消防課 42-3189
企画課 42-3183



◆ 発 行 ◆

上球磨消防組合

代 表 TEL 42-3181

東分署 TEL 47-8119

[http:// www.kmkm119.jp /](http://www.kmkm119.jp/)



第20回上球磨地域幼年消防大会（平成28年11月）



平成 29 年度全国統一防火標語
「火の用心 ことばを形に 習慣に」

- ◆ 組合長就任挨拶
- ◆ 消防長就任挨拶
- ◆ 財政事情の公表
- ◆ 住宅用火災警報器について

就任のご挨拶

組合長 吉 瀬 浩一郎



今般、二月二十七日の上球磨消防組合正副組合長会におきまして上球磨消防組合長としてご選任いただきました吉瀬浩一郎と申します。これまで幾多の諸先輩が築きあげてこられた当消防組合の歴史と伝統という重責を担うことになり、身の引き締まる思いであります。平成三十年から予定されております新庁舎建設をはじめとした諸問題に誠実に向かい合い、四町村の議会の皆様と町村長のご指導ご協力を仰ぎながら、責任を持って仕事をやり遂げたいと考えております。

昨年四月、これまでは比較的安全といわれておりました熊本地方は未曾有の大震災に襲われ、阿蘇地方では阿蘇大橋が崩落し、学生の住宅が押し潰されるなど、県北では多数の方々が亡くなられました。やがて一年を迎えようとしているにもかかわらず、被災が集中した地区には未だブルーシートを被った家屋が数多く

存在し、多くの方々が不便を感じながら仮設住宅で暮らしておられます。本年二月には熊本県知事の招集のもと県下四十五市町村長が集まり、第二回目となる「熊本震災からの復旧・復興に向けた県・市町村意見交換会」が開催されましたが、その日、福島県と宮城県で震度五弱の地震が観測され、私たちの脳裏に再び東日本大震災の記憶がよみがえりました。昨年も各地で台風、地震、火災と相次いで発生しており現在の日本国内はいつどこで何が起きても不思議ではない状態にあるといえます。

当組合管内におきましても、地震等災害に備えた危機管理体制の充実と避けては通ることのできない喫緊の課題といえます。高齢化が進むこの地域において、どのようにすれば災害に強い地域づくりができるのか、共に考えなければなりません。そのような意味で「火災を予防し、住民の生命、身体及び財産を保護し、傷病者の搬送を行う」消防の活動は、地域住民の皆様にとって今後ますます重要なものとなります。これから皆様も安心して暮らせる地域を実現するべく鋭意努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどを何とぞよろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

消防長 松 本 典 生



春暖の候、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、四月十日をもちまして上球磨消防組合の消防長を拝命し、誠に光栄に存じますとともに、諸般の状況に鑑みますとその重責に身の引き締まる思いです。また、日頃から当組合の消防行政につきましては、格別のご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

当組合も開設から四十四年目を迎へ、諸先輩方々が掲げてきた「地域に密着した、住民に信頼される消防」をめざし消防力の向上に努め、現在耐震化に伴う消防庁舎の建て替え事業を進めているところです。

さて、最近の災害を見ますと昨年

発生した四月の熊本地震、八月から九月にかけて立て続けに発生した台風、さらには十月の鳥取地震、十二月の新潟県糸魚川市の大規模火災など、甚大な被害をもたらした災害が多発しております。当管内にも人吉盆地南縁断層が有り、マグニチュード七・一程度の地震が発生すると推定されております。今後いつ発生するかわからない自然災害、また高齢化が進み増え続ける救急出動などの住民の負託に応えるため、「複雑多様化する各種災害への消防力の向上」、「広域連携の強化」、「地域協働に根ざした地域防災力の向上」を図っていくことが重要だと考えております。

これからも、住民の皆様が安全な暮らしをお届けできるよう職員一丸となつて職務に取り組み所存であります。今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

財 政 事 情 の 公 表

上球磨消防組合告示第 1 号

地方自治法第243条の 3 第 1 項及び上球磨消防組合財政事情の公表に関する条例の規定により、財政事情を次のとおり公表する。

平成29年 1 月 4 日 上球磨消防組合長 松 本 照 彦

1. 平成27年度歳入歳出決算状況

(1) 歳 入

(単位：千円)

款 別	予算額 (A)	補正額等 (B)	収 入 済 額 (C)					差引残額 (A)+(B)-(C)	収入率 (%)
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～5月	計		
1. 分担金及び負担金	473,175	△ 456	232,277	117,450	118,256	4,857	472,840	△ 121	100.0%
2. 使用料及び手数料	150	0	87	100	59	114	360	△ 210	240.0%
3. 国庫支出金	1	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
4. 県支出金	41	0	0	0	0	236	236	△ 195	575.6%
5. 財産収入	22	0	0	0	0	22	22	0	100.0%
6. 寄附金	1	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
7. 繰入金	1	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
8. 繰越金	3,000	5,108	3,116	0	0	4,992	8,108	0	100.0%
9. 諸収入	5,608	0	0	9	33	5,619	5,661	△ 53	100.9%
10. 組合債	1	399,700	0	0	0	399,700	399,700	1	100.0%
歳入合計	482,000	404,352	235,480	117,559	118,348	415,540	886,927	△ 575	100.1%

(2) 歳 出

(単位：千円)

款 別	予算額 (A)	補正額等 (B)	支 出 済 額 (B)					差引残額 (A)+(B)-(C)	支出率 (%)
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～5月	計		
1. 議会費	852	△ 350	35	0	125	310	470	32	93.6%
2. 総務費	29,867	△ 1,191	5,248	5,689	7,741	8,263	26,941	1,735	93.9%
3. 消防費	437,365	406,946	117,530	84,958	130,456	503,445	836,389	7,922	99.1%
4. 公債費	12,532	△ 838	0	5,550	0	6,144	11,694	0	100.0%
5. 諸支出金	1	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
6. 予備費	1,383	△ 215	0	0	0	0	0	1,168	0.0%
歳出合計	482,000	404,352	122,813	96,197	138,322	518,162	875,494	10,858	98.8%

2. 組合の財産

種 類	数	量
土 地	上球磨消防本部消防署 5,840.00㎡	東分署 1,698.00㎡ 江代基地局 88.00㎡
建 物	庁舎 999.29㎡	車庫及び資料室 357.93㎡ 倉庫 54.79㎡ 東分署 251.24㎡
車 両	指揮車、ポンプ 1 号車、ポンプ 2 号車、ポンプ 3 号車(予備車)、救助工作車、救急 1 号車、救急 2 号車、救急 3 号車(予備車)、マイクロバス、資機材搬送車、事務連絡車、広報 1 号車、広報 2 号車、事務車、東ポンプ車、東救急車	

3. 平成 28 年度予算執行状況（平成 28 年 4 月～ 9 月）

(1) 歳 入

(単位：千円)

款 別	予算額 (A)	補正額等 (B)	収 入 済 額 (C)			差引残額 (A)+(B)-(C)	収入率 (%)
			4月～6月	7月～9月	計		
1. 分担金及び負担金	495,236	0	231,372	120,074	351,446	143,790	71.0%
2. 使用料及び手数料	150	0	24	41	65	85	43.3%
3. 国庫支出金	1	0	0	0	0	1	0.0%
4. 県支出金	169	0	0	0	0	169	0.0%
5. 財産収入	24	0	0	101	101	△ 77	420.8%
6. 寄附金	1	0	0	0	0	1	0.0%
7. 繰入金	1	0	0	0	0	1	0.0%
8. 繰越金	3,000	0	3,000	0	3,000	0	100.0%
9. 諸収入	6,418	0	1	6	7	6,411	0.1%
10. 組合債	99,000	0	0	0	0	99,000	0.0%
歳入合計	604,000	0	234,397	120,222	354,619	249,381	58.7%

(2) 歳 出

(単位：千円)

款 別	予算額 (A)	補正額等 (B)	支 出 済 額 (B)			差引残額 (A)+(B)-(C)	支出率 (%)
			4月～6月	7月～9月	計		
1. 議会費	551	0	14	48	62	489	11.3%
2. 総務費	26,895	0	4,572	4,420	8,992	17,903	33.4%
3. 消防費	569,322	0	120,962	85,089	206,051	363,271	36.2%
4. 公債費	5,911	0	0	2,957	2,957	2,954	50.0%
5. 諸支出金	1	0	0	0	0	1	0.0%
6. 予備費	1,320	0	0	0	0	1,320	0.0%
歳出合計	604,000	0	125,548	92,514	218,062	385,938	36.1%

★議会情報①★ 代表監査委員交代

柳瀬博史氏から⇒牧本光秋氏へ

平成 28 年 12 月 19 日第 2 回上球磨消防組合議会定例会において、議会の選任同意をうけ、平成 29 年 1 月 13 日から柳瀬博史氏に代わり、多良木町の監査委員であります牧本光秋氏が代表監査委員に就任されました。柳瀬博史氏にあっては、平成 25 年 1 月から 4 年間代表監査委員として勤められました。大変ありがとうございました。

★議会情報②★ 庁舎建設調査特別委員会設置

平成 28 年 12 月 19 日第 2 回上球磨消防組合議会定例会において、上球磨消防組合消防庁舎建設調査特別委員会が設置されました。これは、上球磨消防組合消防庁舎建設に向けた各種事業において、業務等が適正に行われているか調査を行い、地域の防災拠点としてふさわしい消防庁舎の完成を図ることを



を目的とするものです。議長が選任する 6 名の委員により構成され、この日行われた第 1 回の委員会で、委員長に山中馨議員、副委員長に橋本誠議員が任命されました。また、平成 29 年 1 月 24 日に第 2 回を、3 月 6 日に第 3 回を実施し、庁舎建設（設計業務等）の進捗状況等について協議を進められています。なお、昨年度 10 月には、議員研修として長崎県の松浦市消防本部を訪問し、庁舎視察を行っております。

子ども救命士が未来を救う！

今年も、未来の救急救命士といえる子ども救命士が誕生しました。「子ども救命士」講習も今年で 3 年目となります。

たくさん子どもたちが中学生、高校生と大きくなっていく中で、この経験を活かしてくれることでしょう。

これからも、命の大切さを学ぶためにたくさん子どもたちにこの講習を受けていただきたいと思います。救急講習に興味のある方は、上球磨消防署への連絡をお待ちしています。



AED の取り扱いの風景

サイレンを鳴らさずに 来ることはできますか？

119 番通報があった際、
標記のような問い合わせがよくあります。

結論「消防自動車は、サイレンを鳴らさずに来ることはできません。」

国が定める法律「道路交通法施行令」に「緊急の業務のため運転するときは、サイレンを鳴らし、かつ、赤色の警光灯をつけなければならない。」と定められています。



いち早く安全に現場に到着するために、地域住民の方々のご理解とご協力をよろしくお願いします。

- ・ 道路交通法施行令第十三条
(緊急自動車)
- ・ 道路交通法施行令第十四条
(緊急自動車の要件)

ついて
いますか？

住宅用火災警報器



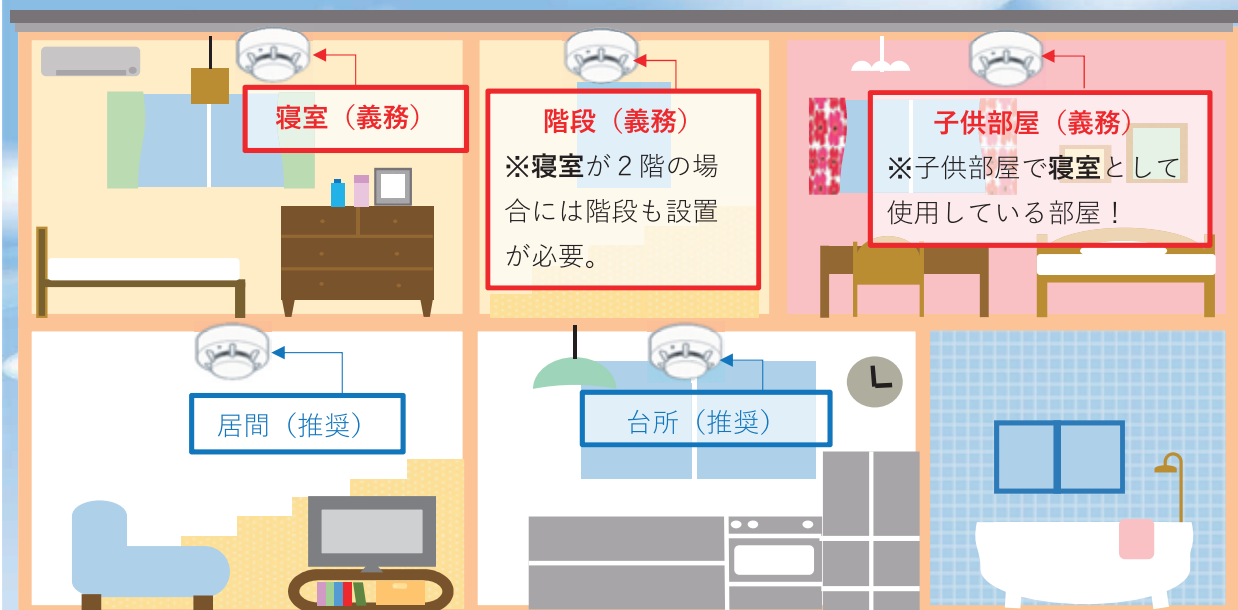
火災警報器はあなた自身また、大切なご家族の命を守ります。

住宅用火災警報器って何？

火災により発生する煙を感知し、音や音声、光、振動により警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器です。

どこに取り付けるの？

お住まいのすべての寝室、階段(寝室が2階にある場合)に設置が義務付けられています。



維持管理について

火災が起きた際に、きちんと作動するよう、定期的を確認する必要があります。

※作動確認は、ボタンを押すかひもを引いて、定期的の実施しましょう。

テスト中です
テスト中です
テスト中です



正常です
火事です
火事です



??
反応がなければ、電池が正しくセットされているか確認してください。それでも反応がなければ、電池切れか本体の故障です。

また、警報器が古くなると内部の電子部品に故障や電池切れなどが発生し、火災を感知なくなることがあります。**10年以上経過している警報器がありましたら、本体の交換**をおすすめします。

ご不明な点がございましたらメーカー又は下記の予防課までご連絡ください。

上球磨消防組合消防本部 予防課

熊本県球磨郡多良木町多良木3146-1 TEL0966-42-3184
ホームページアドレス：<http://www.kmkm119.jp/>

最新の救急車に期待！

平成 28 年度災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用資器材整備事業(整備費 34,128,000 円)により、上球磨消防署東分署(水上村)の救急車が新しくなりました。

平成 28 年 12 月 2 日から運用開始し、最新の高度救命処置用資器材を積載した高規格救急車が、救急救命士と共に救急現場の第一線で活躍しています。

また、この車両は平成 29 年度から緊急消防援助隊に登録され、被災地に出動することになります。



認定救急救命士が増えました！

平成 28 年度の養成計画により、気管挿管認定救命士 2 名と処置拡大 2 項目(心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与)認定救命士 5 名の増員となり、それぞれの認定救命士者数は 16 名(気管挿管)と 11 名(処置拡大)になりました。なお、今年度の認定救命士は以下のとおりです。

気管挿管認定救命士

(要件：派遣先病院の麻酔科医指導の下、30 症例以上成功)
・中神英章 救急救命士・永岡 熙 救急救命士

処置拡大 2 項目認定救命士

(要件：熊本県メディカルコントロール主催の追加講習を受講し 実技試験合格)

第 1 回・西 祐一 救急救命士・中嶋耕輔 救急救命士
第 2 回・益田隆広 救急救命士・永岡 熙 救急救命士
・野中研志 救急救命士

今後、救急現場での重度傷病者の救命率向上のため、認定救急救命士の益々の活躍を期待します。



雪山での城南ブロック消防本部 消防隊合同訓練

平成 29 年 1 月 25 日に八代広域消防本部、水俣芦北消防本部、人吉下球磨消防本部、上球磨消防本部で構成される城南ブロック 4 本部と、熊本県防災消防航空隊の総人数 47 名で山岳救助合同訓練を実施しました。

訓練場所の市房山は、前日からの積雪で 3 合目付近から雪化粧をしており、足元の悪い登山道で 4 本部協力しながら負傷した要救助者をヘリピックアップポイントまで搬送し、防災消防ヘリに収容しました。

近年の登山者増加により、山岳事故に備え実践的な訓練をすることができ、4 本部の救助技術の共有と連携強化に繋がりました。



地域防災力強化！

平成 28 年 11 月 6 日に上球磨消防署東分署で水上村消防団第一分団研修を行いました。この研修は平成 27 年に総務省消防庁から水上村に無償貸与された救助資機材車を使用し、消防団の大規模災害時の対応力向上を図ることを目的としたものです。

研修では、救助資機材の取扱い説明の後、実際に、コンクリートブロックの破碎や、訓練車両の閉鎖されたドアの開放を行う中で、消防団員の方々は真剣に取り組まれていました。

管内にも人吉盆地南縁断層があることから、地震をはじめ、あらゆる自然災害から住民を守るためには、地域防災の要である「消防団の力」が必要不可欠です。今後も消防署と消防団が一体となって地域防災力の強化に努めていきたいと思ひます。



油圧コンピツールで
ドアを開放する様子



コンクリートブロック
破碎の様子